



加東市

議会だより

8月臨時会・9月定例会



ベビーサイン講座

9月21日(水)やしるこどものいえで開催されました。まだ言葉を話せない赤ちゃんに手話や簡単なジェスチャーで会話する育児方法で、「おっぱい」「お風呂」「食べる」「おやつ」などを、赤ちゃんに手振りで伝えることで言語発達の基礎が育ち言葉の理解が進みやすいと言われています。膝の上に座った赤ちゃんの笑顔で、お母さん方の日頃の忙しさも癒されていくようでした。

- 8月臨時会・9月定例会 2
- 議会報告会・議会ICT推進研究部会報告 5
- 決算特別委員会報告 6
- 総務文教常任委員会報告 8
- 産業厚生常任委員会報告 10
- 一般質問 12
- 加東のええトコ! ～おぶかさんとうぶくじ 大深山東福寺～ 16

第12回

2つの会場で開催します
皆さん、ぜひお越しください!

議会報告会を開催します!

開催日時 11月5日(土)

午後2時～午後4時

- ・ 明治館
- ・ 高岡コミュニティセンター

報告内容

第1部/9月定例会について

第2部/地域産業の活性化と子育て環境について



新婚世帯に引っ越し費用等支援金を支給へ

～経済的理由で結婚へ踏み出せない方を応援!!～



小元団地

【問】新築工事と解体工事が
設けた。
【問】新築工事と解体工事が
設けた理由。
【答】この工事の入札参加資
格はAランクである。
市内にはAランク業者がな
いため、BランクやCラン
クの市内の業者も参加でき
るように「共同企業体」を
設けた。

第66回臨時会

市営住宅小元団地新築工事
請負契約締結

◆契約の相手方
(株)吉住工務店

◆契約金額
3億8340万円(税込)

第66回加東市議会臨時会が8月8日、1日の会期で、そして第67回定例会は9月1日から9月23日まで23日間の会期で開会した。市長から提案された平成27年度各会計決算認定をはじめ、平成28年度各会計補正予算、条例の一部改正、人事案件など21議案を審議、また、議員提出議案2件も合わせていずれも原案のとおり可決した。16日には一般質問が行われ、8名の議員が市当局の考えをただした。

第67回定例会

一般会計補正予算(第3号)

一括発注だが、解体工事を
単独発注とすれば市内業者
単独の入札も可能ではな
かったのか。

【答】解体工事を進めながら
新築工事を進められるため、
工期なども勘案し、一括発
注とした。

【問】入札は適切であったと
思うが、市の制度上、最低
入札価格業者が落札できず
失格となった。その差は約
5000万円である。

市民の税金が多く使われ
る結果となったが、低価格
調査制度等を実施するなど
今後の検討課題だと思っ
た。

【答】工事ごとの調査制度は
時間を要するため実施してい
ないが、今後は検討したい。

【問】6月の一回目の入札が
不調に終わり8月の契約と
なったが、工期的に厳しい
と思うが対策は。

【答】厳しい工期なのは承知
している。今回は外構工事
を除き年度末の工期に間に
合わせるようにする。

全会一致で可決



【問】資金がないのが結婚に
踏み切れない要因とあるが、
結婚新生活支援事業の対象
が新婚世帯なのはなぜか。
【答】この制度を事前に十分
周知することにより、結婚
へのきっかけづくりの位置
づけとしている。



介護ロボット
イメージ図

【問】資金がないのが結婚に
踏み切れない要因とあるが、
結婚新生活支援事業の対象
が新婚世帯なのはなぜか。
【答】この制度を事前に十分
周知することにより、結婚
へのきっかけづくりの位置
づけとしている。

【問】まちづくり拠点創出事
業委託料の内容は。
【答】市の魅力を発信するア
プリケーションのOSの追
加費用である。

【問】介護ロボット購入補助
金の内容は。
【答】市内の2施設が購入す
る予定であり上限92万7千
円を補助するが、台数や機
種は施設が決める。

【問】市として、付属資料に
載せる主要事業の基準は何
か。
【答】基本は、補正によって
新しく取り組む事業である
が、今後は補正理由も観点
に載せていく。

【問】南山活性化支援施設の
備品購入費の内容は。
【答】当初のプロポータル募
集要項では備品費用も含め
ていたが、市内業者でも調
達が可能であることから受
託料を減額し、別途発注す
る予算である。

全会一致で可決



全会一致で可決

【問】補正額が8600万円の
減額で総額の約1割弱だ
がその要因は。
【答】当初は軽減対象者が不
確定なところもあったが、
4月1日時点での対象者が
確定したため。

【問】補正額が8600万円の
減額で総額の約1割弱だ
がその要因は。
【答】当初は軽減対象者が不
確定なところもあったが、
4月1日時点での対象者が
確定したため。

賛成討論

情報公開に関する作業の
見直しや、物品調達の方法
をシビアに行うこと。また、
定額の補助金については事
業実績に応じた査定がない
と感じる。しかし、決算内
容については健全な行政運
営がなされているので賛成
する。(藤尾)

平成27年度決算認定

認定第1号から第8号の
審議内容については決算特
別委員会のページ参照。

介護保険保険事業特別会計 補正予算（第2号）

【問】償還金が5300万円となった理由は。

【答】介護報酬の改定と単価の加算地域から対象外となったため。

全会一致で可決

一般職員給与条例の一部改正

【概要】参事職導入に関する給与表の改定

【問】参事職の具体的な業務は。また統括する内容は。

【答】教育委員会では、加東市教育大綱策定や小中一貫教育への対応、病院事業では公営企業法全部適用に向けての対応等で、課をまたがるものを取りまとめる。

全会一致で可決

良好な環境の保全に関する条例の一部改正

【概要】太陽光発電設備の設置にあたり、市への届け出と住民説明会の義務付け。

【問】発電容量が10キロワットと小規模な設備まで届け出義務等を課す理由は。

【答】加東市の今後の予想も見越し、自然環境や防災、地域との調和等も勘案して

設定した。

【問】小規模な設備は個人でも整備されると思うが、その場合に住民説明会まで課すというのは相当な負担になるのではないか。

【答】現実には小規模発電設備で地域から苦情もある。また、来年4月から改正FIT法が施行され、小規模な設備が増えることが予想されるため。



太陽光パネル

【問】良環条例の中では地域のみに自然環境保護地区があるが、今後、滝野・東条地域へも適用すべきだと思ふが。

【答】第一段階として今回の条例改正の提案とした。合併して10年経過しているの、第二段階として保護区域は市全体へ広げていく必要があると感じている。

【問】設置事業者の住民説明会実施においては、区長等とは調整できているのか。

【答】これまでからも区長会から何とかして欲しいとの意見もあった経緯も踏まえての提案である。

【問】住宅への設置を除く、全量売電目的の施設数を予想しているのか。

【答】現在1300件が認定されている。30%が未着手であり、今後400件くらいの設置を想定している。

【問】市としては届け出等が整わない場合は設置を許可しないのか。

【答】届け出を義務付けることであり、それによって許可等を行うものではない。

【問】自治会への説明が義務付けられているが、自治会組織のない場合の対応は。

【答】個人個人への説明は難しいと思う。その住民の方々が、地域一体となって対応していただきたい。

【問】着手前の届け出とあるが、着手は何を指すのか。

賛成多数で可決

土地取得

【概要】東条文化会館（コスミックホール）用地の借地解消のため現用地の購入

◆取得面積 16238㎡

◆取得価格 2億7604万6千円

【問】この地区の土地取引価格はいくらか。

【答】土地鑑定士に依頼して鑑定した。一般的な標準単価は平米当たり2万7000円である。

【問】地目は田だが、資料では宅地となっているのは。

【答】登記地目は田である。ただ、現況は宅地であるため借地料は宅地として支払っている。

【問】懸案であった借地が解消されるということと地権者の協力や理事者の努力は評価したい。残りの地権者との交渉の見通しは。



東条文化会館

【答】一体的な評価の部分で合意に至っていないが、引き続き粘り強く交渉していく。

全会一致で可決

議会基本条例の一部改正 （議員提出議案第3号）

【主旨】議会基本条例は施行後6年を迎え、現状にそぐわない事項や今後の議会活動を見据えた内容に対応するため。

改正内容

・任意的議決事件の整理
・政策討論会の開催を任意規定とする。

・議員定数及び議員報酬改正にあたり公聴会制度等の活用規定の削除。

【問】議会運営委員会に提出した提案がなぜ審議されず却下されたのか。

【答】提出された第一の提案は「全てを改廃し、新たに見直すこと」であった。議会運営委員会では当初から議会基本条例の改廃は全く予定していないため。

【問】実情に合わずとあったが、これでは加東市議会が改善等において良い方向に向かわないのではないか。

【答】今後も加東市議会では各議員に議論を重ねていた

だき一緒に良い方向に進めていきたい。

議会基本条例の一部改正に対する修正案 （提案者＝大畑、高瀬、藤浦）

【修正内容】議会運営委員会から提案された改正案は、現行の基本条例から後退するものであり、併せて議会改革の取り組みと経費の節減を念頭においた議会活動、市長と議会は互いにその権限を尊重すべきこと。議員定数や報酬の改正、また、

政務活動費の条例化に当たっては公聴会制度および参事人制度を活用すべきこと等を追加して規定する必要があるため。

【問】このような案があるなら、全員協議会で意見を求められた時になぜ、意見を述べなかつたのか。

【答】全員協議会で意見を述べたことは議案の事前審議に当たると考えた。

【問】この改正案を議会運営委員会に提出しなかつたのはなぜか。

【答】まずは、現行の基本条例は廃止し、一から作り直すべきと考えたため。

【問】この改正案を議会運営委員会に提出しなかつたのはなぜか。

討 論

【原案賛成】今回の修正案は原案で提案されていない部分まで及んでいる。また、改正案は一旦の見直しであり、抜本的な見直しは今後議論を重ねていくとのことであり賛成する。また、議会運営委員会の対応は理事者とも調整しての議論の結果であり、それを尊重し賛成する。

(藤尾、小川、磯貝、小紫、長谷川(幹)、石井)

【修正案賛成】修正案も議会運営委員会からの提出の原案も方向性は同じである。不足部分は付け足し、修正すべき部分は修正する主旨であり修正案に賛同したい。

(大畑)

賛成多数で原案可決



平成28年度 各会計補正予算（9月定例会分）

(単位：千円)

会 計 種 別	補正額	補正後の額	主 な 内 容
一般会計(第3号)	237,291	21,442,105	社会資本整備総合交付金事業50,000千円、保育所運営事業11,100千円、結婚新生活支援補助金5,400千円等
特別会計			
国民健康保険(1号)	17,572	4,737,378	前年度国庫支出金償還金19,532千円、アルバイト賃金1,466千円、介護納付金1,169千円、予備費△5,091千円等
後期高齢者医療(1号)	10,638	444,494	後期高齢者医療広域連合納付金
介護保険保険事業(2号)	53,854	3,331,259	前年度繰越金49,545千円
介護保険サービス事業(1号)	2,112	395,061	居宅介護サービス費収入1,020千円、一般会計繰入金909千円等
企業会計			
水道事業(2号)	収益的収入 136 資本的収入 2,268 資本的支出 4,860	1,504,909 215,751 785,158	前年度分消費税及び地方消費税還付金 西脇三田線(天神地内)工事負担金 小野藍本線(厚利地内)配水管移設工事設計委託料
下水道事業(2号)	収益的収入 8,615 資本的収入 4,800 資本的支出 5,076	2,048,544 1,226,731 1,829,652	過年度損益修正益6,165千円、県補助金2,450千円 企業債 小野藍本線(厚利地内)汚水管移設工事設計委託料
病院事業(2号)	収益的収入 △1 収益的支出 3,914	1,803,953 2,107,127	訴訟に係る保険金の項の変更による差額分 給与費4,673千円等

第67回定例会 議決結果一覧 (賛否の分かれたもの) ○…賛成 ×…反対 欠…欠席

議案番号	議 案	大畑 千代	藤 浦 巧	高 瀬 俊 介	長 谷 川 幹 雄	石 井 雅 彦	岸 本 眞 知 子	小 川 忠 市	小 紫 泰 良	磯 貝 邦 夫	藤 尾 潔	安 田 朗	長 谷 川 勝 己	桑 村 繁 則	山 本 通 廣	二 階 一 夫	井 上 茂 和	議決結果
第76号議案	加東市良好な環境の保全に関する条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	×	○	○	原案可決(賛14反1)
議員提出 第3号議案	加東市議会基本条例の一部を改正する条例制定の件 (修正案)加東市議会基本条例の一部を改正する条例制定の件	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	×	×	○	原案可決(賛9反6) 修正案否決(賛6反9)
議員提出 第4号議案	加東市議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○	×	×	×	○	原案可決(賛12反3)
認定第8号	平成27年度加東市病院事業会計決算の認定の件	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	認定(賛14反1)

※その他の議案は全会一致で可決

議会日誌

《主なもの》

7月	8月	9月
1日 議会報告会実行委員会 4日 議会広報委員会 6日 議会運営委員会 8日 北播磨衛生事務組合議会臨時会 11日 議会広報委員会 12日 東播・淡路市議会議長会定例会 15日 全国市議会議長会地方行政委員会 19日 議会運営委員会 20日 議会広報委員会 21日 兵庫県市議会議長会総会 22日 議会報告会実行委員会 25日 総務文教常任委員会 28日 議会運営委員会 29日 北はりま消防組合議会臨時会	2日 総務文教常任委員会 3日 行政視察(福岡県八女市) 4日 議会運営委員会 4日 全員協議会 5日 朝来市議会行政視察来庁 6日 第11回議会報告会(鴨川・東条西) 8日 第66回臨時会 8日 総務文教常任委員会 12日 議会運営委員会 17日 産業厚生常任委員会 18日 行政視察(福井県勝山市・坂井市)	1日 第67回定例会(1日目) 2日 総務文教常任委員会 2日 議会広報委員会 5日 産業厚生常任委員会 7日 決算特別委員会(1日目) 7日 議会報告会実行委員会 8日 決算特別委員会(2日目) 9日 議会運営委員会 9日 決算特別委員会(3日目) 13日 議会ICT推進研究部会 16日 議会運営委員会 16日 第67回定例会(2日目) 21日 議会報告会実行委員会 23日 第67回定例会(3日目) 23日 全員協議会 23日 議会運営委員会 27日 議会広報委員会 30日 議会運営委員会



第11回 議会報告会

平成28年8月6日(土) とどろき荘・上鴨川公民館にて

テーマ「6月定例会・小中一貫教育について」



8人

とどろき荘会場

【問】太陽光パネル設置の請願が出ていたが、採択された以上は議員提案で条例をつくるのか。

【答】請願に関しては、行政が条例作成のために動いているので、議会として現時点での動きはない。

【問】南山活性化支援施設(仮称)の設置に関して、当初の説明では、2階建てと聞いていたが、なぜ平屋建てになったのか。

【答】委員会としても、当初は2階建てと聞いていたが、入札時の4社のプロポーザルの中で、木造平屋建てが機能的に高評価を受けたので決定した。

意見交換会での意見

【問】東条文化会館周辺の土地の買収に関して、どのあたりまで買収されるのか。

【答】買収に関しての詳細は、個人的なこともあるため分らないが、その土地を購入することによって、学校施設の面積は確保できると聞いている。

【問】教育委員会は、現職の教員の意見を聞く意志がないように思う。つくる以上は良いものをつくりたいのでよろしく願います。

【答】総務文教常任委員会としても、しっかりと勉強し取り組んでいく。

上鴨川公民館会場

【問】予約型乗合タクシーに乗りたいたとき、行きたい場所にいけると理解した。公共交通会議にも参加しているが、特に結果が出ていない。今後の方針は出ているのか。

【答】7月開催の総務文教常任委員会で企画協働課から、地域公共交通網形成計画についての中間報告があり、平成28年度中に策定すること。計画がまとまれば、鴨川地区、米田地区の自主



20人

運行バスについても、その他の交通政策についても、形が出てくると思う。

要望事項

・害獣(猪、鹿)の禁猟期における捕獲について、なぜ動きが消極的なのか疑問である。もっと積極的に駆除してほしい。
・不法投棄の処理について、土地の所有者が処理させられるのは納得できない。せめて不法投棄と確認されたごみは、市で処理してほしい。

次回ご案内

第12回 議会報告会

日時:11月5日(土)
14時~16時

場所:

- ①明治館
- ②高岡コミュニティセンター

加東市議会でも。

▶ICTについては、以前から取り組んできている。

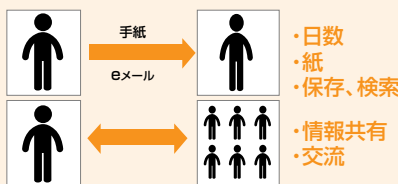
★ 情報公開…会議録検索
議会のインターネット中継
会議資料の公開



市民に開かれた議会へ、ICTという道具を使って市民と議会・議員が繋がってゆく

ICTとは…

▶I(情報)C(コミュニケーション)T(技術)



情報、時間、距離の差を縮めていくための道具

9月定例会最終日の後の全員協議会で、パワーポイントによるプレゼンテーション形式の報告を行った。

議会ICT推進研究部会

導入のメリット

- ▶ 所属していない委員会の資料が確認できる
- ▶ 動画の閲覧による、事後の確認ができる
- ▶ 保管資料の削減。検索システムの使用
- ▶ インターネットを使った調査
- ▶ 写真などを使った情報発信

次のステップにはICT機器に慣れることに重点を置き、最終的には、例規集や会議録の閲覧ができ、資料削減の効果が期待できる。議員間や市民との情報交換ができるタブレットの導入を考え、委員会内でも使えるようなシステム作りができればと考えている。

今回が部会の最終報告となるが、11月からの改選以降もあらためて部会を立ち上げ、開かれた議会をめざしてICT化の推進研究を続けていく必要がある。

堅実な財政運営

～ 一般会計 8億8,411万円の黒字 ～

歳入歳出決算会計別一覧

※ 1万円以下は四捨五入

会 計		歳入決算額	歳出決算額
一 般 会 計		190億2,152万円	181億3,741万円
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	45億9,058万円	45億0,933万円
	後期高齢者医療特別会計	4億0,752万円	3億9,688万円
	介護保険保険事業特別会計	32億1,728万円	31億1,674万円
	介護保険サービス事業特別会計	3億7,901万円	3億7,891万円
	小 計	85億9,439万円	84億0,186万円
企 業 会 計	病院事業会計	17億0,250万円	20億3,099万円
	水道事業会計	14億0,769万円	11億9,433万円
	下水道事業会計	19億2,395万円	19億7,390万円
	小 計	50億3,415万円	51億9,922万円
合 計		326億5,005万円	317億3,849万円

※企業会計は、収益的収入および支出額（消費税抜き）を計上しています。

平成27年度各会計決算については、議長・監査委員を除く14名の委員で構成する決算特別委員会（長谷川幹雄委員長）において、審議を行った。病院事業会計については、賛成多数で、他の会計については全会一致で承認された。

病院事業部

【問】累積損失が、今年度で19億8400万円あるが、いつからの累積か、又、その累積損失はいくつ頃処理するのか、処理する場合はどのような会計処理が想定されるのか。

【答】昭和50年からの積み上げであり、現在のところでは、このままということでは考えている。

累積欠損金を処理する場合は、資本剰余金の部分を議会の議決を経て会計処理ができる。しかし、今の病院の貸借対照表上では全ての未処理欠損金を処理することはできない。

【問】未収金の総額が少なくなっているが、それでも1460万円近くの未収金がある。どのように回収される予定か。

【答】額の大きな方は3名で700万円程度になっており、今、訴訟等に対応している。額の少ない方については、裁判所へ支払い催促の申し出をして、肅々と法的措置を進めるといふ形で対応する。

総務部

【問】物品を買うときの調達の方というのを検討する考えはあるのか。

【答】物品の調達については、基本的には、地方自治法施行令に定められている方法で、加東市の場合は、当然、市に登録がある事業者で一般競争入札という形で決定している。

【問】土地開発基金の土地価格を参考的にでも実勢価格で示す考えはあるのか。

【答】基金の性格上、取得当時の金額が固定されている。

まち・農整備部

【問】地域内の市道の草刈りの範囲には基準はあるのか。

【答】市道の草刈りは市が実施すべきだが地域の協力により維持管理が成り立っている。

ただ、危険な場所は市が実施している状況である。

【問】市営住宅の使用料滞納状況だが、毎回、決算時に指摘しているがどのように解消していくのか。

【答】年度末時点で、30名の方がおられるが、色々なケースがあり、納付交渉とか分納の誓約をしていただき、

可能な限り納付していただく。



草刈の様子

福祉部

【問】とどろき荘の運営は大変厳しい状況であるが、運営改善等についての所感は。

【答】浴槽を縮小してコンパクトな経営にし、なるべく今と同じ入浴者数を維持し、収支差額を減少していきたい。



とどろき荘

【問】地域公共交通活性化協議会等々の中で福祉タクシーについて検討がなされたか。

【答】個別に担当部局と調整している。

地域創造部

【問】加東市が出資しているやしろ商業開発株式会社の決算書を見ると今年6000万円近くの利益そして累積黒字6億円あまりとなっているが、株主としての配当を要求する考えはあるのか。

【答】旧町時代に出資してから一度も配当金は受け取ってはいない。今後、大規模な店舗の改修をしたいとの計画を聞いており、配当までにはいたらないと聞いている。



社ショッピングパークBIO

【問】各営農部会に助成金を出しているが、ある部会の決算書に積立金があるのは

なぜか。指導はしているのか。

【答】営農活動が十分に活性化して、加東市の農業に寄与するのであれば減らそうとは思っていない。繰越金とか特別積立金が多いことのない様、年度内で完了できる事業を実施していただくよう指導していきたい。

協働部

【問】LEDの防犯灯の設置要望に対して、どのような基準で対応しているのか。

【答】平成28年4月に防犯灯の設置要綱を新しく作り、設置間隔を概ね60m以上とし、各地区平等に設置できるように取り組んでいる。



防犯灯

【問】加東消防署の建設に対する平成27年度と28年度の進捗状況は。

【答】土地の購入契約が整い、今後は設計の見直し等、建

設に向け具体的に進めている。平成30年度の運用開始に変更はない。



加東消防の建設予定地

【問】防災行政無線基地局の数は、予定通りの対応が来ているのか。

【答】親局を含めた16局で、その数については変わっていない。

上下水道部

【問】下水道会計に一般会計から13億3000万余り繰り入れているが、これを少なくしようとするば、料金改定が必要ではないのか、それについての見解は。

【答】下水道使用料は、近隣に比べ高い水準である。料金を上げれば楽になる

が、一般会計との費用負担等の研究を進め、直ちに下水道使用料の値上げについては、しばらく研究の時間をいただきたい。

教育委員会

【問】平成29年度に向けて設立しようとしている発達サポートセンター（仮称）はどのようなものなのか。

【答】学校教育課が中心となって、健康課、子育て支援課、社会福祉課と合同で進めているワンストップ型支援センターである。

一ヶ所で生涯を通じた支援を考えている。

【問】小中一貫教育について、昨年度は反対の意見もあったが、小中一貫教育の推進導入に向けては同じ方向を向いているという認識でよいのか。

【答】開校準備委員会の会議をもっており、反対された方も委員になられている。今は同じ方向に進んでいると理解している。

【問】人権教育費の需用費で不用額が178万5000円となっているが、どういう要因か。

【答】窪田児童公園の修理費に対する不用額である。本来は3月に補正すべきものであるが、工事の進捗状況により減額できなかった。今後は適正な執行に努めたい。

市民生活部



窪田の児童公園

【問】国民健康保険税の滞納額が約3億円弱となっているが、今後の対策は。

【答】短期被保険者証を交付する際には、必ず税務課と連携をとり、状況を確認してから発行している。

資格証明書交付についても適正に行っていく。

【問】みどり園と小野クリーンセンターの負担金で金額に差があるが。

【答】みどり園と小野クリーンセンターとの収集のあり方など、処理体制が違う。みどり園は、中間処理、埋め立て処分施設を持つて直営にて処理している。

小野クリーンセンターにはビンやプラスチック類は持ち込まず、加東市は民間業者で再資源化しているなど、処分の違いにより負担金が異なっている。

お詫ひとごめいん



加東マスコットキャラクター 加東伝の助

平成28年度8月1日発行「加東市議会だより38号」において、左記のとおり誤りがありました。

3ページのタイトル2行目

誤 設計・施工業者決まる！
正 設計・施工業者決まる！

同3ページ3段11行目

誤 設計・施工契約締結
正 設計・施工契約締結

4ページ「公益法人加東文化振興財団 事業報告」上段表内「育成事業」内訳、上から7行目

誤 学校公い
正 学校公演

以上3点について、訂正させていただきますとともに、不備・不手際がありましたこと、お詫び申し上げます。

福岡県八女市を視察

予約型乗合タクシー・小中一貫教育を調査

総務文教常任委員会

行政視察

八女市の概要

平成18年と22年、近隣3町2村と合併し面積は県内2位の約480km²(66%が山林)、現在の人口は、約6万6千人。合併後の6年間で6%の人口減少と、過疎化が進んでいる。

平成28年度の一般会計当初予算は、356億5500万円、歳入の市税は約64億8300万円と本市と同程度だが、地方交付税124億7900万円への依存度が高い。なお、旧町村ごとに支所を設置しているため、職員の削減は進んでいない。

予約型乗合タクシー

事業主体は八女市(地域公共交通協議会)で実証運行を経て、平成24年度から本格運行へ移行。

電話予約によるドア・ツー・ドア方式の乗合タクシーで高齢者の外出機会を増やすことを第一の目的とし、合併前の旧町村で整備が進



予約型乗合タクシー

められた病院等公共施設も大切にする必要があることから、市内の旧町村域を基本に11エリアに分割しエリア内移動を原則に、10人乗りワゴン型タクシー12台により平日のみ各エリア4往復8便運行している。

予約受付や運行管理は商工会に、車両運行は市内タクシー会社とバス事業者に委託している。

利用料金は片道300円で、利用状況は1日平均220人、1便平均2.5人(平成27年度年間利用55,485人)と利用実績は比較的多く「乗合」になっている。

学校跡地の活用状況

小中学校の統廃合は昭和の時代から進められており、平成9年以降でも26小学校と3中学校が廃止されている。

廃校となった校舎等は、市の直営又は指定管理でコミセンとして利用しているもの14施設、用途を変更し、市が直接管理しているもの(市営住宅等)7施設、民間へ有償又は無償で譲渡・貸付したもの10施設等となっている。

予約システムの導入経費は約4900万円(国庫補助等約2千万円、定住自立圏基金から1700万円、一般財源1200万円)、年間の維持管理費は約6800万円(全額交付税算入される過疎債5300万円、国庫補助1400万円、一般財源1000万円)で運行している。

なお、その他の交通施策として、路線バス維持補助約3900万円、小中高生路線バス通学定期券補助約800万円、社会福祉協議会・NPOによる福祉有償運送が実施されている。

これらのうち、平成26年3月廃校の大淵小学校を2億3200万円(うち過疎債1億円)で改築し、平成28年4月から運営開始された大淵体験交流施設「げんき館おおぶち」(八女市直営)を視察した。

施設の概要は、平屋建てで1,211m²、宿泊収容人員は78人、大中小の浴室、交流スペース、学習室、食堂・厨房、別棟で体育館がある。

体験授業として、自家製漬物教室やいちご狩り・タケノコ掘り、沢登り体験、手作りこんにやく作り等が楽しめる。

本年4月から8月の利用(予定)者数は37件939人(うち7・8月は29件87人)となっている。



「げんき館おおぶち」にて

小中一貫校教育の状況

旧上陽町(5,932km²平成5年人口3,867人平成18年10月、八女市と合併)では、平成10年度以降学校の統合が繰り返され、6つの小学校、2つの中学校が、平成18年度から1小学校1中学校になった北川内小学校と上陽中学校(敷地が隣接)による小中一貫校教育の構想が平成19年に出され、翌平成20年度から試行がなされ、PTAも統合された。そして平成21年、小中一貫校「上陽北内学園」が施設分離型(併設型)でスタートした。

平成23年、校舎が増築され、平成24年4月から施設一体型校舎による小中一貫校教育となった。

現在の児童生徒数は180人で1学年平均20人。



上陽北内学園

施設一体型校舎になったことから、現在ではデメリットはない。メリットは、1年生から9年生まで、各教科の統一カリキュラムを作成することができること。また、学校行事においても合同入学式・運動会等特色ある運営ができ、保護者の一体感も醸成されている。

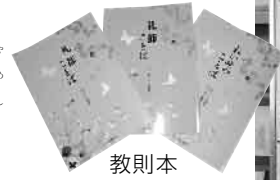
学力面では全国学力・学習状況調査において、国語A・B、数学A・Bとも全国平均を大きく上回っている。また、学習規律・学ぶ態度は、学年が上がるごとに向上しており、生徒指導上の問題行動や中一ギャップは、見られないとのこと。

全校の児童生徒の状況を小中職員全体で共有し、9年間を見通した指導ができている。

特徴的な取り組みとして、文部科学省教育課程特例校指定を受け、「礼節・ことば科」を開設し、人間のあり方としての礼儀・作法や人としての関わりの中での行動のあり方、相手を意識した表現力の育成などを、9カ年を通してカリキュラムによって育成している。



礼節・ことば科 ポスター



教則本

なお、八女市におけるその他の小中一貫教育の推進状況としては、八女市全体として小中一貫校・教育を推進するという方針が決定されているわけではないが、旧町村ごとのブロックにおいて小中連携教育に取り組まれている。また、各ブロックで小中一貫校が話題にはなっているが、具体的な構想はまだなされていない。

また、八女市におけるその他の教育事業として、少人数指導教員の配置により個に応じたきめ細かな指導をするため、全校(15小学校・10中学校)に1名ずつ、少人数指導教員(教員資格を有しているが、採用されなかった方等を非常勤で)を配置している。



上陽北学園の全体像

事業費は小学校で269万4千円、中学校で153万7千5百円である。

また、全校2学期制を導入(10月連休で区分)しており、①授業時間を確保し、きめ細かな指導による確かな学力を身につけることができる。②子どもと向き合う時間の確保や教育相談の充実を図ることができ

る。③教職員が教材研究や打ち合わせの時間などを勤務時間内に設定することにより負担軽減を図り、これ

まで以上に日々の授業を充実させることができる、としている。

なお、全校空調を完備し、夏季休業を1週間短縮し授業に活用している。

その他の取り組み

・全校に図書館司書を配置
事業費は小学校で約3千万円、中学校で約1400万円
・入学祝金
事業費は約4200万円(小学生2万円中学生5万円)

所管事務調査

人事制度改革について

合併後10年が経過し組織の成熟が進んだ半面、急速に進展する行政需要や給与制度の見直しに的確に対応するため、①職制に応じた業務が遂行できるよう参事・係長制を導入②職員個々が目標を明確にし、将来像を描きやすく意欲的に職務に励み組織の活性化につなげるため、現行の「担当↓監督職↓管理職」と昇任していく一般職コースに、「スタッフ職コース」を加え、複線型人事制度を導入③職

員のやる気や働く意欲の向上のため自己申告制度を実施するというもの。

【問】参事の具体的業務は。

【答】小中一貫教育や病院等公営企業の独立採算へ機能的な取り組みを図りたい。

【問】複線型人事制度は35歳でコース選択するのか。
【答】年齢制限を設け途中でもコースの乗り換えを可能とした。

地域公共交通網形成計画

地域公共交通の方向性(素案)として、①中国道ハイウェイバスや明石・三ノ宮方面への収支率の高いバス路線は維持・確保に努める。②バス路線の天神電鉄小野駅線は廃止しデマンド型乗合タクシーに、社三田線は大学経由に統合する。③米田・鴨川の市町村運営有償運送は維持・確保し、他の交通空白地は定時定路線型乗合タクシーやデマンド型乗合タクシーを検討するとしている。

【問】東条地域から小野市内への通学時間が長くなるが、デマンド型タクシーを延長できないか。

【答】西脇・多可方面への通学者が多い状況で、バス路線維持の観点からも社まで来てもらい路線バスを利用いただきたい。

【問】交通空白地においてデマンド型乗合タクシーが導入されれば、米田・鴨川地域の市町村運営有償運送は必然的につづける。それを維持していくには委託料の大幅な増額や地域への大きな配慮が必要と考えるがどうか。

【答】交通空白地における最も大事な交通サービスは市町村運営有償運送と考えている。いろんな地域で取り組んでもらいたいと考えているが、どうしてもできない場合はデマンド型タクシー等を導入したい。

市町村運営有償運送を維持できる環境を整えていきたい。廃止することは全く考えていない。

【問】東条地域のデマンド型タクシーの運行範囲は。社まで行けるのか。

【答】路線バスと競合しない形で、バス路線も見直しながデマンド型タクシーの運行範囲を事業者と調整していきたい。

加東市民病院公営企業法全部適用へ

～事業管理者選定など平成29年4月運用に向け準備中～

産業厚生常任委員会

所管事務調査

加東市民病院の地方公営企業法全部適用に関する中間報告について

【経緯】平成19年度に有識者による「加東市地域医療検討委員会」を設置し、加東市民病院のあり方等について協議してきた。

その中で経営形態に関しては「公営企業法の全部適用」の導入が提言されたが、平成24年度に経営状況が好転したことから、一部適用

でしばらく見守ることとした。しかし、その後、4名の常勤医師の退職等により平成25、26年度は経営状況が非常に厳しい状況になった。こうした中、平成27年度策定の『加東市民病院経営健全化基本計画』に全部適用への早期取り組みを明

記すべきとの意見があり、平成29年度からの全部適用への移行を固めた。

【全部適用のメリット】
①事業管理者には、業務遂行権限と責任が付与されるため、経営に関する責任と権限が明確となり、事業管理者を核とした職員全体の経営に対する意識の向上が期待できる。

②事業管理者には、管理規程制定権限や予算作成権限等が付与されるためその経営方針に基づき内部組織改編や職員の柔軟な配置が可能となる。また、業務の柔軟かつ迅速な執行も可能となる。

③事業管理者による職員の任免や、独自の給与体系を定めることが可能となるため、人材の確保が容易となる。

※地方公営企業法の全部適用とは……

◆自治体病院の経営形態で「一部適用」とは、地方公営企業法の主に財務に関する規定を適用するもの。

「全部適用」とは首長が任命した事業管理者（特別職になる。）を設置して財務規定のみではなく組織、人事・労務（職員の身分取扱い）に関する規定など地方公営企業法の全部を適用するもの。

り、能力や実績を反映した給与設定が可能となる。

【今後行う事項】

◆事業管理者の選定

◆医師・職員の給与見直し

◆条例、規則等の整備

◆職員組合との交渉

◆給与体系等の説明

◆議会対応（条例改正等）

【問】事業管理者を選定する期間が長すぎないか。

【答】事業管理者は特別職となるため、その報酬は報酬審議会で諮ることになる等の理由で時間を要す。

【問】事業管理者は外部からも選定するのか。

【答】内部、外部問わないと考えている。

【意見】職員には十分な説明を行い理解を得て円滑な移行を希望する。



加東市民病院



滝野温泉ぼかば

滝野温泉「ぼかば」の整備工事について《商工観光課》

【概要】平成28年度事業としてサウナ等の改修工事を予定している。この度、最低限の休業期間で工事を完了するために各種工事の工程調整を行い、比較的用户者の少ない時期に実施することとした。

【工事概要】
①サウナの修繕、浴槽の木の劣化箇所の修繕
②照明設備等の取り替え
③ろ過機の防振継手とサウナストーブの交換

【問】利用者への休業の周知方法は。

【答】広報等では行き渡らないと考え、館内に大きく掲示するなどに対応する。

【問】問題のある修繕箇所は今回の工事で終了か。

【答】他にも修繕箇所はあるが今回は早急に対応すべき箇所の工事である。

「道の駅とうじょう」南側駐車場の舗装について

《商工観光課》

【概要】平成26年度に購入し、平成27年8月に舗装工事を行ったが、総重量40トン超の特殊車両の利用がかなり多く、一部箇所の舗装面が重量物で押しつぶされ損傷が路盤まで達している状況である。掘削等による調査を行い、特殊車両に対応できる舗装構成とする実施設計を委託し修繕する。

【問】現状の舗装構成は。

【答】表層には透水性4cm、下層は不透水性5cmの2層構造である。

【問】アスファルト舗装ではなくコンクリート舗装にする考えはないか。

【答】検討はするが、高額となるため調査に基づき適切に判断したい。



駐車場の損傷現況

アフタースクール業務を民間委託へ

～企画提案型公募で業者を決定し、平成29年2月から実施～

放課後児童健全育成事業（アフタースクール事業） 民間業務委託について

《子育て支援課》

【現状】市内公立小学校区9カ所で小学校全学年を対象に実施している。
【課題】利用者増加による支援員等の不足とそれに伴う事務量の増加。

【民間委託による効果】

①支援員等の安定した確保
②支援員等の職責・職務に応じた体制の確立

【委託業務内容】

①支援員等の募集・採用、雇用契約、福利厚生等
②支援員等の賃金・旅費の計算、明細配布、支払い等
③支援員等の勤務シフト等の作成

④支援員等の研修の事務
⑤保護者説明会、新規利用者の利用前面接、利用者の傷害保険の加入・請求事務

【市の業務】

①利用の決定
②利用料の決定・収納管理
③施設管理

【委託期間】平成29年2月1日から平成32年3月31日まで。（長期継続契約）

【委託料（見積限度額）】

①平成28年度11295万円。（2ヶ月間）



東条東アフタースクール

②平成29年度～平成32年度
11年額7770万円

【問】委託業者の決定に至った経緯等は公表するのか。

【答】10月中旬頃に公表できる予定である。

【問】新年度の4月からではなく2月からの委託になった理由は。

【答】アフタースクールは4月が最も忙しいので、円滑な移行に備えるため。

【問】民間事業者への移行に対する現支援員へ説明等の対応は万全か。

【答】本人の意向を確認した上で民間事業者への転籍となる。5月下旬から全職員に対し説明を行ってきたが特に混乱等は無かった。

【意見】民間業者に委託することによりサービス低下にならないように希望する。

行政視察

8月17日と18日に福井県坂井市と勝山市にて政務調査を行った。（各委員の所感）

坂井市中小企業振興計画について

【中小企業振興計画の概要】この振興計画は、平成25年、中小企業の支援を目的に制定した「坂井市中小企業振興基本条例」に基づき各種の支援策を総合的に実施するための実行計画である。期間は平成27年度から10年間とする。

計画の策定にあたっては、「坂井市の現状や課題に対応する」といった観点で、市内中小企業者にアンケートを実施し、その回答を支援策の検討の参考とした。

制定から3年が経過するが、成果として「産・学・官・金」の強いネットワークが構築された。また、従来は、商業組合や商工団体

といった組織に対する支援が市の施策のメインであったが、基本条例や振興計画策定を経て、頑張る一企業を

積極的に支援できる枠組みを設けることができた。また、議会も都市活性化委員会が先進地へ行政視察を行うなど積極的に関与した。



坂井市の視察

勝山市「福井勝山総合病院」の存続支援について

「福井勝山総合病院」は、独立行政法人地域医療機能推進機構が直接運営する公設公営の病院であり、自治体が直接運営する病院ではない。従って、勝山市からの支援金支出は皆無である。

【支援の取組み経緯】（抜粋）

◆国に対し公設民営式の存続及び病院の拡充、維持管理に必要な整備は国負担で行うよう要望書を提出。

◆福井大学医学部へ医療機器購入への支援として自治体から寄附ができるよう総務省へ要望書を提出。結果、平成20年に勝山市・大野市で計500万円を寄附する。

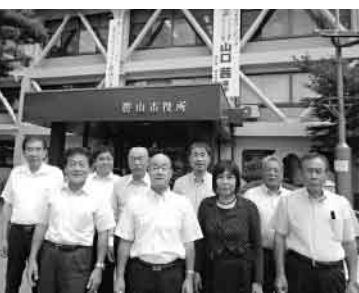
◆福井社会保険病院で妊婦健診を受け県内医療機関で出産を予定している妊婦に対し、医療機関までの通院交通費助成事業を実施。

◆区長会が中心となり署名活動を行い「地域拠点病院の継続を求める請願」を衆・参議長へ提出。

◆区長会が中心となり「奥越2次医療圏の存続を求める意見書・要望書」を福井県に、陳情書を県議会に提出。

◆県内医療機関で出産する方を対象に10万円を支給する「にこにこ妊婦奨励金制度」の実施。

◆その他に毎年勝山市が市民や保育園連合会、医師会など関係諸団体を巻き込みながら講演会、フォーラムなどを共催という手法で開催し、市民運動的な病院存続活動をサポートしている。



勝山市の視察



高齢者や障害者宅へのごみ個別収集について

小川 忠市 議員

問 少子高齢化社会への移行と核家族の進行に伴い、高齢者や障害者の方には、家庭ごみ等を所定の収集場所まで運ぶことが困難な方もいる。そのような高齢者等を対象に自宅までごみの収集を行い、合わせて声掛けにて安否を確認する自治体が増えているが加東市での実施の見解は。

答 現在のところ、地域から行政によるごみの戸別収集の要望は受けていない。

現状として、掃除などの介護サービスと合わせてごみ出しをヘルパーにお願いしている等の対応が図られており、現時点では戸別収集を実施する予定はない。しかし、今後は高齢化が一層進むことから、将来的検討課題としていきたい。

仮に実施する場合の課題としては、プライバシーへの配慮や公衆衛生、さらに、対象世帯の要件設定の問題、また、将来的には、「共助・公助」の分担により、地域の方々と行政が協力してごみ収集を行っていく体制を作り、地域の高齢者等への支援とコミュニケーションに繋げていくことも課題ではないかと考えている。

その他の質問

■ 住宅リフォームに対する助成制度導入について



協議離婚時の子どもの養育費・面会交流に関する合意書作成について

小紫 泰良 議員

問 離婚が避けられなくなってしまうても、その影響を受ける子どもの未来にとって最善の選択肢を話し合ってから離婚すべきということで、明石市では、平成26年度から離婚届を取りに来られた方に「こどもの養育に関する合意書」を配られている。

養育費の額だけでなく、支払の期間や振込口座、面会の方法・頻度・場所などを具体的に記入できる合意書である。加東市でも市役所に離婚届を取りに来られた時に「こどもの養育に関する合意書」を配布してはどうか。

答 離婚後の親子関係や面会交流、養育費と言った問題について十分な話し合いを行うことができるように、明石市

と同様に市民課の窓口で離婚届の用紙を取りに来られた時に離婚用紙と一緒に「こどもの養育に関する合意書」や、啓蒙パンフレットを、10月初めからでも配布できるように速やかに準備を進めていきたい。



明石市制作部市民相談室
「合意書・養育プラン作成の手引き」より抜粋



加東市小・中学校の教職員の 職場環境状況に関して

高瀬 俊介 議員

問 小・中学校における教職員の勤務時間は、どのような状況か。

答 平成24年兵庫県教育委員会が実施した教職員の勤務実態調査では、持ち帰りの仕事を含めた平日1日当りの超過勤務時間は、2時間45分であり、全県の2時間56分より、11分短くなっている。

①教員に1人1台のパソコンをあたえ、IT化を進めていた事。

②ノー部活デーやノー残業デーの実施。

③平成15年度から児童生徒に特別な支援にあたるスクールアシスタントや事務補助員等を配置した事が要因であると考える。

問 教育委員会として具体的な職場環境改善策及び実施されている内容はどのようなことか。

答 平成25年度に県内の他市町にさががけ、総合的校務支援システムを導入し、掲示板機能を活用。電子黒板やデジタル教科書を活用した授業。

さらに、学校業務改善に関する研究を継続的に取り組む事により、市全体の業務改善を進め、勤務時間軽減をはかる。

問 勤務時間軽減策として、学校事務職員経験者を支援職員として配置する考えはあるか。

答 現在、事務職員は、市内6名となっており、今後は市の職員として、学校事務職員経験者を積極的に任用していくと共に、規模や実情に応じた適切な配置に努めていく。

その他の質問

■防災行政無線の整備状況について

問 建築後三十年以上経過している鴨川団地や平安団地等の長寿命化計画について、中間見直しはどのように実施していくのか。

答 平成29年度にアンケートや面談により多くの入居者の意見を伺い、これら事前調査により適切な対策を検討した上で計画を見直し、これに沿った改修や修繕を実施する。

問 これら団地のお風呂について、建築当時はあれでよかったとも思うが、一日の疲れをとる、心身を癒すという状況ではない。ユニットバス等に変える考えはないか。

答 現地において状況を検証し、ユニットバスへの入替えに取組む。ただ、大規模改修をしていくと家賃への影響もある。意向を聞きながら対応していきたい。

市営住宅の改修について

大畑 一千代 議員

問 汚水桧ヌグが外部になく、洗濯機をお風呂の洗い場に置かれており狭くなっているが。

答 現地で要望を確認し大規模改修等を計画する中で対応していく。

問 シロアリ対策は、長寿命化の観点からはその団地を一時に、または棟ごとに実施すべきと考えるが。

答 発生した建物周辺の状況を調査し、対応していく。

○大規模事件・事故への対応

問 相模原市における障害者殺傷事件のような大規模事件・事故への初動対応は。

答 警察・消防等と協議し、それぞれの機関の役割、体制等を明確にしたうえで行動マニュアルを作成していく。



近隣市町の保育料無料化に伴う市の見解を問う

岸本眞知子議員

問 『公共サービスには原則

受益者負担があるべきであり、加東市の子育て支援はハード・ソフト両面の整備充実によって他市との違いを明確にし、真に子育て世帯を応援する持続可能な施策を見極めていくべきである。』という市の考えに対し、子育て世代に納得させられる視点も大事かと再度見解を問う。

答 社会保障費が年々増加する中、受益者負担と公共サービスのバランスは慎重に判断しなければならぬ。

子育て世帯を支援することもある大切なことであるが、市民全員が理解でき、住みたいというまちづくりのサービスこそが公共サービスのあり様である。

保育料無償化を進めること

は待機児童問題など、他の問題を誘発させかねないなど将来に課題を残すことにもなる。

教育再生実行会議等から出された、「各無償化の提言」

に基づき、国においても財源確保の課題があるため段階的にはあるが、軽減策が進められていることから、加東市においても一定の軽減策を検討していくべきと考えている。

その他の質問

■雇用促進の中での子育て両立支援について

■消防団操法大会と防災イベント同時開催の成果を問う



選挙における加東市の取り組みについて

長谷川幹雄議員

問 今回の参議院選挙の結果についての見解と、今後の取り組み、対応は。

答 投票率向上のために、様々な取り組みをしている。新たな取り組みとして、昨年度から近隣市町に先駆け、市教育委員会及び県選挙管理委員会と連携し、小・中学生に対して、初めて出前授業や実際に公職選挙で使用する投票箱及び投票記載台を使用し、模擬投票や生徒会選挙を実施した。

18歳、19歳への周知・啓発については、市広報のほか全戸配布用の啓発チラシを従来のB4版からA3版に拡大し、18歳から投票できるようになった旨を掲載した。

9月2日に開催された市選挙管理委員会において、若い

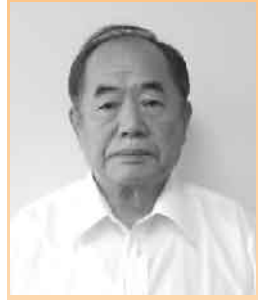
うちから選挙に関心を持って

もらうため、長期的展望に立ち、小・中学生や高校生に対し、選挙出前授業などの若年層啓発事業を計画的に実施していく旨を決定している。

その他の質問

■ICTを活用した有害鳥獣対策について





空き家を利用した 定住促進について

磯貝 邦夫 議員

問 定住促進について具体的な施策は。

答 定住化促進での住宅支援として（１）親元に住もう作戦（２）働く世代呼び込み作戦（３）空き家リノベーション作戦を行っている。加東市結婚新生活支援生活の補助金制度を創設し（10月1日より受付）新居の賃貸料などの住宅費や引っ越し費用を最大18万円助成する。婚姻数増や新婚世帯の定住化につなげて行きたい。

問 空き家の利活用については。

答 年度末を用途として空き家・空き地の実態調査をしている。所有者の意向を把握し、空き家バンクに登録後、利活用に向けた準備を進める。市として来年リノベーション物件のモデルハウス設置を計画しており、チャレンジショップ、兵教大コラボ塾などの



地域コミュニティ創出の場として活用していく。

○鳥獣被害、特に交通事故トラブルの対策について

問 猪・鹿等による衝突事故の件数は。

答 平成26年度は17件、平成27年度は14件、最近では鴨川地区で1件発生している。（ただし道路管理者の処理件数による）猟友会と連携しつつ、対策を進めたい。

地域公共交通網 形成計画について



藤尾 潔 議員

問 加東市における公共交通に関して長期検討が重ねられてきたが、地域公共交通網形成計画の素案が提示されるところまで来ている。「調査・検討を行います。」ではなく、調査検討を行った結果どのように取り組むのかを示してほしい。内容を問う。

答 地域公共交通活性化協議会での議論を経て、年内に地域公共交通網形成計画を取りまとめる。加東市の公共交通の将来像を掲げ、実現に向けて取り組む。

計画は市内全域を対象としたもので、市役所・病院・買い物等を目的とした交通アクセスの確保を図るとともに、公共施設の適正化の取り組みも踏まえた内容とする。費用対効果も踏まえながら、既存の交通機関を有効活用しつつ、

利用しやすい公共交通の実現に向けて取り組んでいく。

○教育におけるアウトカム（成果）指標の設定について

問 加東市では全国学力・学習状況調査の結果をリーダーチャートにより示しているが、わかりづらい面もある。

答 正答率の公表も一つの方法であるが、数値のみが強調される恐れもある。領域ごとの状況を細かく示す等、公開の方法を工夫していきたい。

その他の質問

■部活動と地域スポーツクラブ等の連携について



議員のおすすめる
市内のスポット等を紹介
する「加東のええところ」
どうぞ、お楽しみくだ
さい!

初冬の山谷に澄んだ力強い法螺貝の音が響く午後、修験道の装束に包まれた山伏による「柴燈護摩法要」が行われた。境内に護摩壇が準備され、山伏が伝統的な修法に従って肅々と式を進める。矢を放つて結界が設けられ、点火。舞い上がる白煙は恰も雲海の如くに境内をおおい、やがて壇は真っ赤な火に包まれる。護摩火の鎮まりを待つ、いよいよクライマックスの「火渡り」が始まる。山伏に続き、老若男女の区別なく参詣者は合掌して挙って挑戦する。それぞれに願いを込めて。火は煩惱を焼き尽くすと言われる。少しの煙たさと足裏に感じる程よい熱さに身を任せて、満足感を体感する。この法要と平行して、別の堂宇(福寿殿。昭和52年再建。本尊…弁財天。周囲回廊には西国三十三札所観音を祀る。)では、僧侶による「理趣三昧法要」が行われた。

この行事が行われた加東市松沢



(二階二夫)

にある大深山東福寺(本尊…十一面観世音菩薩。平安時代後期作。加東市文化財指定。現本堂嘉永年間再建)は、県道小野藍本線松沢バス停から北約2kmにある。この日執行される伝統的な宗教行事「亥の子まつり」の一コマであり、本来は「五穀豊穰」を祈念する収穫祭である。近年では、毎年12月第一日曜日に行われる。(東福寺提供)

議会の傍聴に お越しく下さい

加東市役所5階に議場があります。

11月臨時会の予定

12月定例会の予定

11月8日(火) 9時30分
11月10日(木) 9時30分
12月1日(木) 9時30分
12月16日(金) 9時30分
12月22日(木) 9時30分

議案審議・議会構成
議会構成
議案審議
一般質問
議案審議

- ※8月臨時会・9月定例会延べ12人の傍聴がありました。
- 定例会は加東ケーブルビジョン(121ch)及び加東市議会HPで生放送もいたしますのでご覧ください。
ホームページ <http://www.city.kato.lg.jp/gikai/> 電子メール gikai@city.kato.lg.jp

編集後記

日々秋の深まりを感じる季節となりました。
芸術の秋、スポーツの秋など色々と言われますが、私にとっては、まさに食欲の秋です。

我が家には、四本の柿の木があり、毎年その成長を見守っています。

二本は曾祖父、三本は九年前に他界した父が植えた二種類の柿が、今年も枝が折れる程、沢山の実を付けてくれました。

曾祖父の植えた木は久保柿ですが、父の植えた二種類の柿の名前は解りません。

二本は富有柿に似ていますが、実は大きく、種も少なく梨に似た食感があり、好評です。

もう一本は洪柿ですが、ソフトボール位の大きさがあり、干し柿にもできますが、家に置いておくと渋が抜け、甘さと赤味が増しゼリー状になってくるので冷蔵庫で冷やして家族で食しています。

柿の木は、特に手入れをすることもなく、年に二回ほど下草を刈る程度ですが、毎年しっかりと実をつけてくれます。

私にとって晩秋は、大自然の力の凄さを実感し、亡き家族との想い出を語りあい感謝する季節でもあります。

私達議員も、日々活動しながら、良きまちづくりを实らせたいものです。

(長谷川勝己)



議会広報委員会

委員長 石井 雅彦
副委員長 高瀬 俊介
委員 二階 一夫
桑村 繁則
長谷川勝己
小川 忠市
大畑 一千代

兵庫県加東市社50番地